

社会福祉法人まつかぜの会 令和5年度事業報告

1 事業報告にあたって

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は5類となり、4年もの間事業運営が多大に制限されていたことを取り戻す年でありました。豆腐・パン等の販売や受注においてもコロナ禍前に少しでも戻れるよう、法人事業所全体が頑張っており、取り組むことが出来たと思っております。また利用者やそのご家族の協力と、法人の製品・商品をお買い上げくださったお客様すべての方々に感謝申し上げます。

令和6年元旦に能登半島地震（最大震度7）があり最大規模の被害がでました。近年日本列島では大地震など自然災害が多く発生しており、首都圏は「首都直下型地震」がいつ起きてもおかしくないと言われております。

令和6年4月から介護サービス事業者には事業継続計画（BCP）の策定が義務付けられました。当法人は、「自然災害発生時における業務継続計画」と「感染症発生時における業務継続計画」を事業所ごとに策定いたしました。各事業所においては、利用者共に火事や地震を想定した防災訓練を実施しておりますが、普段の訓練はとても大事なことと実感しております。今後もBCP策定マニュアルに沿った研修や訓練等を実施してまいります。

まだ課題は多々ありましたが、それぞれの利用者の生き方を支援し、併せて利用者の安全・安心・快適なサービスを提供できるよう施設運営に努めてまいりました。

また、職員一人ひとりについては豊かに安心して働けることや学びや成長を応援できる仕組みづくりに繋がるようこれからも引き続き考えてまいります。

2 法人の概要

- (1) 法人名 社会福祉法人まつかぜの会
- (2) 所在地 千葉県松戸市緑ヶ丘2丁目349番地
- (3) 法人の事業 第2種社会福祉事業
障害福祉サービス事業
 - ① 就労継続支援B型事業所 豆のちから（定員20名）
住所：松戸市緑ヶ丘二丁目349番地
 - ② 多機能型事業所 みらいず（定員32名）
主たる事業所みらいず 住所：松戸市稔台七丁目31番の1 ハイピア稔台1階
就労継続支援B型（定員12名） 生活介護（8名）
従たる事業所ばれっと 住所：松戸市西馬橋広手町13番地
就労継続支援B型（定員12名）
 - ③ 共同生活援助事業所 花音
グループホームルピナス（定員8名）
住所：松戸市南花島二丁目30番地の6
 - ④ 短期入所（共同生活援助花音空床利用型）

3 役員等の構成

評議員 7名

理事 6名

監事 2名

(評議員選任・解任委員 3名)

4 令和5年度評議員会・理事会・監事会等の開催状況

評議員会

開催年月日	出席人数	決議事項・報告事項等
第1回 令和5年6月17日	評議員5名 理事4名 監事2名	議案第1号 令和4年度計算書類及び財産目録について 議案第2号 理事の選任について 議案第3号 監事の選任について
		報告第1号 令和4年度事業報告について 報告第2号 令和4年度監査報告について 報告第3号 社会福祉充実計画について

理事会

開催年月日	出席人数	議案事項・報告事項等
第1回 令和5年5月17日	理事6名 監事2名	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 計算書類及び財産目録について 議案第3号 社会福祉充実計画について 議案第4号 みらいず賃料改定について 議案第5号 理事候補者の選任について 議案第6号 監事候補者の選任について 議案第7号 定時評議員会の開催について
		報告第1号 理事長の職務執行報告について 報告第2号 令和4年度決算に係る監事監査報告について
第2回 令和5年6月17日	理事5名 監事1名	議案第1号 理事長の選定について
第3回 令和5年11月14日	理事5名 監事2名	議案第1号 令和5年度第1次補正予算について 議案第2号 評議員選任解任委員の選任について
		報告第1号 理事長の職務執行報告について
第4回 令和6年3月27日	理事6名 監事2名	議案第1号 令和5年度第2次補正予算について 議案第2号 令和6年度事業計画について 議案第3号 令和6年度予算について 議案第4号 事業継続計画（BCP）策定について 議案第5号 給与規程改定について 議案第6号 共同生活援助花音運営規程の改定について
		報告第1号 理事長の職務執行報告について

監事会

開催年月日	出席人数	監事監査
令和5年5月14日	監事2名・理事2名	令和4年度の監事監査の執行

5 基本方針

- (1) 利用者一人ひとりの人権と意思決定を尊重し、主体的な生活と自己実現を目指した支援に向けて取り組みました。
- (2) 利用者の個性や思い、ライフスタイルに添った個別支援計画のもとニーズに応じた支援をしました。
- (3) 職員の知識向上に向け、諸研修会（オンラインを含む）に参加しました。
- (4) 地域との結びつきを大切にしたイベントや地域フォーラム等に積極的に参加しました。
- (5) 共同販売推進協議会や就労支援ネットワークに参加し、他の障害者支援事業所との連携を図り、地域における社会資源や支援についての情報交換や連携した活動の実施など、地域におけるネットワークを構築するように努めました。
- (6) 法人経営の透明性の確保に努め、閲覧対象書類を公表するとともに、運営についてはホームページや通信等で各事業所の様子を随時発信してまいりました。

6 重点目標

(1) 経営基盤の強化

①各事業所新規利用者の獲得

特別支援学校より令和4年度卒業生1名が豆のちから、一般就労していた方1名がばれっと・他事業所を退所した方がみらいずと契約し、利用開始に至りました。就労継続支援B型の定員を満たすよう引き続き募集していきます。

②就労継続支援B型事業の点検・見直し

就労継続支援B型は利用者の思いや適性など、また工賃向上を含めて考えなければなりません。事業内容を見直すことは容易なことではありませんが、今後も引き続き検討しながら事業展開をしてまいります。

③必要な設備機器の導入

パン製造の過程でホイロ（最終発酵機）の導入について、販売実績から検討をしてまいりました。新年度予算に組み込み導入を進めて参ります。

⑤ 利用者工賃の向上

令和5年度は豆のちからのイベント出店が多くありました。また、みらいず・豆のちからともに比較的単価の高い受注作業が滞りなく入ってくるようになりました。そのためB型2事業所とも月平均2万円を越す工賃の支払いができました。

(2) 職員の人材育成

今年度は、強度行動障害支援養成研修・権利擁護研修等を受講しました。利用者にしっかりと向き合うノウハウを学べる研修で、今後も支援に役立てられることを期待しております。

(3) 職員採用計画について

職員採用に向けては、豆通信を中心に発信しましたが採用までいたりませんでした。今後も

引き続き募集を試みていきます。

(4) 財務基盤の安定について

①法人財務については昨年度同様に厳しい状況ではありましたが、必要とされるサービスは継続的に提供できるように努めました。

②グループホームルピナスでは2空室がありますが、今年度は短期入所利用者が12名あり定期的にご利用いただき、毎月の利用率向上に繋げてまいりました。

7 職員研修

月日	テーマ・内容	主催	参加者
4月20日 21日	強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修)	ホットラインワールド	石村
9月13日	サービス管理責任者更新研修	千葉県精神障害者自立支援事業 協議会	雑賀 市川
1月17日	A型B型職員の基礎知識	千葉県障害者就労振興センター	清水・松村
1月23日	A型B型職員の基礎知識	千葉県障害者就労振興センター	浦野
1月23日 24日	福祉職員キャリアパス対応研修 (初任者編)	千葉県社会福祉協議会	松村 萩原
2月7日 8日	福祉職員キャリアパス対応研修 (チームリーダー編)	千葉県社会福祉協議会	浦野
2月14日 15日	福祉職員キャリアパス対応研修 (中堅職員編)	千葉県社会福祉協議会	清水
2月28日	障害者虐待防止・権利擁護研修	千葉県健康福祉部障害福祉課	郡司・市川

8 職員会議等

月日	内容	出席数	詳細
4月3日	虐待防止委員会	5	虐待発生状況報告・職員セルフチェックの件
4月21日	定例職員会議	12	新年度事業計画の確認、各事業所報告他
5月22日	定例職員会議	12	事業所報告、新型コロナ5類移行後の対応他
6月26日	定例職員会議	12	事業所報告、利用者健康診断の件他
7月31日	定例職員会議	11	事業所報告、夏季休業中対応の件他
8月18日	虐待防止委員会	5	虐待発生状況報告・運営内容検討他
8月28日	定例職員会議	12	事業所報告、実習生受入の件他
9月25日	定例職員会議	11	事業所報告、イベント出店対応他
10月23日	定例職員会議	8	事業所報告、入所予定者実習受け入れの件他
11月27日	定例職員会議	8	事業所報告他
12月26日	定例職員会議	4	事業所報告、年末年始休暇中の体制他
1月22日	定例職員会議	10	事業所報告、新年度体制の準備他
1月22日	防災対策委員会	6	ハザードマップ確認・防災備品管理他

2月26日	定例職員会議	3	事業所報告、感染症対応他
3月29日	定例職員会議	9	事業所報告、6年度体制の確認他

9 苦情解決等

令和5年度においては、本法人及び事業所に対する利用者及び保護者等からの苦情はありませんでした。

10 虐待防止等の取り組み

職員が権利擁護への意識を高め、利用者接遇の向上また質の高い支援を目指すため外部研修に参加しました。また、法人事業所職員全員が虐待防止マニュアルを共有し支援に生かすよう努めました。令和5年度においては、虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

11 感染症・衛生管理対策

コロナウィルスが蔓延しているなかでは、感染を予防し健康を守るため、手洗い・マスク・アルコール消毒等感染対策を徹底しました。コロナ感染が5類に移行した後も利用者・職員の感染が見られましたが、職員は千葉県から提供を受けた抗原検査キットで早期発見に繋げて利用者への感染を防ぐことができました。

12 家族及び家族会との連携

- (1) 新利用者の契約にあたり、重要事項説明や個別支援計画、また事業所の活動内容などについて本人及び家族に対し十分な説明をいたしました。
- (2) 令和5年10月に法人家族会主催の勉強会「親なきあとに備えて」を開催いたしました。

13 関係団体等との連携

- (1) 特別支援学校や関係機関等との情報交換を行い、在宅者や特別支援学校生等に体験実習の機会を提供し、進路選択の情報提供を行いました。
- (2) 他法人と連携し2件の共同受注を受託しております。利用者の作業等や職員間の情報交換をすることでより良い支援になるよう努めました。
- (3) 就労支援ネットワークに積極的に参加して、他福祉サービス事業所と情報交換等することができました。
- (4) 協力医療機関と連携し、利用者の健康診断など速やかに対応できるように努めました。

豆のちから（就労継続支援B型事業）

1 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

男性	11名
女性	7名
合計	18名（定員20名）

（1）年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	0	7	2	1	1		11	30.5
女性	1	3	1	1	1		7	32.4
計	1	10	3	2	2		18	31.3

（2）月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	377	380	385	408	380	374	401	352	384	303	338	393	4475
開所日	22	22	22	23	22	22	23	21	22	20	21	23	263
1日当たり	17.1	17.3	17.5	17.7	17.3	17.0	17.4	16.8	17.5	15.2	16.1	17.1	17.0
利用率%	95.2	95.9	97.2	93.4	95.9	94.4	96.9	93.1	96.9	84.2	89.4	94.9	93.9

（3）工賃実績

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
利用者数	18人	17人	18人
平均工賃(一人当たり)	16,715円	21,984円	23,709円

2 事業報告

令和5年度は過去に参加させていただいたイベントでの販売もコロナ前と変わらない規模で実施され、多くの方々に豆のちからの商品をご購入いただきました。会場でのおからドーナツの認知度は高く、行列ができるイベントもありました。令和4年度より販売を開始いたしました豆乳パンのレポートリーも徐々に増え始めると同時に、市の特産品を使用したパンを企画し、市内の団体とコラボ商品を生み出しました。しかし職員体制や設備、製造工程の都合上、1度に製造できる製品数に限りがあるため、今後パン事業のさらなる発展のためにはそういった課題をどう解決するかが鍵となると思います。また施設外就労先が2件終了したため令和6年度はその売り上げの埋め合わせをどう行っていくかも課題となります。

一方、期待できる点として出店依頼を受けるイベントの数とそのお客様の数がコロナ感染対策の緩和とともに増えている点が挙げられます。そしてなにより地域での活動が行いやすくなるにつれ、利用者の作業意欲が高まり、積極的に作業に参加する方が増えているということが挙げられます。職員もそういった利用者の支援にやりがいを感じ、職員・利用者共に今後の活動を楽しみにしてい

るところであります。

(1) 豆腐・菓子製造販売

令和5年度はコロナ前と変わらない水準まで豆腐や菓子類の製造が忙しくなりました。豆腐製造については4年度まで月曜・水曜のみの製造でしたが、5年度より火曜日も新たに製造日として決めました。理由としては、製造への参加を希望する利用者が増えたという点が挙げられます。それは豆腐に関わらず菓子類の製造についても同様で、やはり「自分たちで作って売る」というサイクルを意識して支援を行ってきた成果だと考えます。また自分が作った商品がお客様に「美味しかったよ。」と言われることが利用者のモチベーションとなり、難しい作業であっても前向きに取り組んでくれます。そういった利用者の姿を見て、製造を希望する利用者が増えていると考えられます。また火曜日の工房のメリットについて、火曜日は製造数も少なく、初心者でも入りやすいものとなっています。どの作業がどの程度出来るか、今後どういう成長が見込めるかを実践的に見極めることができ、結果として6年度から別の曜日も工房での作業に従事する予定の利用者が始め、ステップアップの足掛かりとして活用できています。

菓子工房についてはおからケーキに従事する利用者が増えました。特に毎週火曜・木曜に製造する豆乳パンの製造作業においては、日々の生活の中で馴染みのある食品ということもあり、利用者の作業意欲は非常に高いと感じます。市役所の通路販売時には通常9時作業開始のところ、8時から早出をお願いしたところふたつ返事で了承をしていただきました。また土日・祝日のイベント時においても同様に作業に従事してくださるため、支援者も非常に助かっているところでもあります。それに加え、地域の企業・団体とコラボした商品を2つ企画し販売するに至りました。1つ目は松戸市の特産品である「プリンス徳川カフェ」のコーヒー豆を使用した「豆乳コーヒーメロンパン」です。こちらの商品はプロバスケットボールチームの試合会場で行われた販売会で販売させていただき、その後も継続的に販売を行っています。2つ目は、こちらも特産品である「あじさいねぎ」を使用した「あじさいねぎカレーパン」です。こちらの商品はプロラグビーチームの試合会場での販売の他、この商品がきっかけとなり、主に地場産品を取り扱うJAの直売所「さいてつて」での販売も始まることとなりました。

移動販売においては回数や人数を制限していた体制から、通常の形式に戻りました。曜日ごとの販売に職員1名に対し利用者2～3名で行います。イベント販売についてもコロナ前の水準に戻ったといえると思います。むしろコロナ禍の閉塞感から解放された分、イベント会場で目にする来場者の数は増えているように感じます。また平日の移動販売先として定期的に明治安田生命や小金支所に伺っています。個人のお客様を新規で獲得することも望ましいところではございますが、今後はこのような企業や団体のお客様を増やしていくことも重要と考えます。

(2) 受注作業

令和4年度に引き続き毎週水曜日にちいき新聞の折り込み作業を行い、その他にも箱折りやネジの組み立て、玩具の袋詰めなどの多岐にわたる作業を行っていきました。また年度末から(株)ミナノシゴトの仲介でブックオフ松戸東口店から雑貨の値付け作業と、子供服の値付け作業を毎週受注しております。

作業中に利用者に聞いてみると、いずれの作業においても利用者個々で作業を継続するためにモチベーションを持っていました。「手が黒くなるまでネジをやりたい。」とか「〇〇さんがやっていた作業が自分も出来るようになった」など製造や販売だけでなく、受注作業においても「やりがい」や

「生きがい」を感じているように見受けられます。

現在受注している企業は以下の通りです。

- ・(有) ユハラインターナショナル 玩具箱詰め等
- ・(有) ミラクルパワーズ 玩具箱詰め等
- ・(株) ケーワイケー 製函
- ・(株) タカシマ ネジ組み立て等
- ・(株) アークフォワード ちいき新聞折り込み作業
- ・(株) ファイン物販 雑貨箱詰め シール貼り付け等
- ・ブックオフ 松戸駅東口店 雑貨値付け 子供服値付け

(3) 施設外就労 4か所

- ・(株) 太田製作所 (工場内作業)

工場内でウレタンテープ貼りや住設パーツの組み立て等の作業の一部を行っております。ここでの生産物に誤差が生じてしまうと、次の作業に大きくロスが発生してしまうため、細かい精度が求められる作業となっております。

- ・(株) 太田製作所 (清掃業務)

本社ビルや工場内トイレ、食堂等の清掃業務を行っております。自分の担当する清掃場所をそれぞれが清掃するので、差票への責任感が求められます。

- ・東松戸病院

松戸市共同受注事業として(社福)松里福祉会こころばまつさととローテーションで病院内の洗濯業務を行っていましたが、しかし病院の閉鎖に伴い、年度末に終了しました。

- ・(株) 的場製館所

毎週水・金曜日に工場内の番重洗浄の作業を行っていましたが、食品工場での作業ですので洗浄した番重は勿論のこと自身の衛生管理も必要となっておりましたが、7月末に終了いたしました。

最後に利用者についてですが、「自分たちで作って売る」という豆のちかららしい支援と、以前より外に出やすくなったことによる「お金を使う」というところが相まって、通所する目的が明確になった利用者が増えました。一生懸命やるだけでなく、責任感を持ちながら作業を行い、稼いだ工賃で物を買うということに対して、「やりがい」や「生きがい」を感じているように感じます。そのような、作業意欲が非常に高く楽しそうに作業をしている利用者を見た他の利用者にもいい影響を与えています。今後もそういった利用者の活躍を地域の皆様に感じていただけるような活動を行っていきたくと考えています。

3 イベント・販売会

月日(曜日)	内容	主催等
4月18日(火)	ネサポ販売会	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
4月18日(火)・19日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
4月29日(土祝)	緑と花のフェスティバル	松戸市観光協会
5月9日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会

5月17日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
6月4日(土)	障害者施設食べ物フェア	障害者施設食べ物フェア実行委員会
6月6日(火)	明治安田生命販売会	明治安田生命
6月18日(土)	常盤平団地ふれあい広場	常盤平団地社会福祉協議会
6月20日(火)・21日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
7月5日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
7月11日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
8月16日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
9月5日(火)	松戸ニッセイデソの園秋まつり	松戸ニッセイデソの園
9月26日(火)27日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
9月30日(土)	丘っこまつり	認定こども園風の丘
10月4日(水)	明治安田生命販売会	明治安田生命
10月7日(土)	松戸まつり	松戸市
10月17日(火)・18日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
10月22日(日)	小金地区ふれあい広場	小金地区社会福祉協議会
10月28日(土)	つくし祭	つくし特別支援学校
10月29日(日)	竹あかりオープンマーケットイベント	NPO 法人エコーエコーハウス
11月4日(土)	中野学園秋まつり	社会福祉法人あしたば中野学園
11月12日(日)	矢切地区ふれあい広場	矢切地区社会福祉協議会
11月18日(土)	ふれあいフェスティバル	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
11月23日(木祝)	まつど大農業まつり	とうかつ中央農業協同組合・松戸市
11月26日(日)	小金原ふれあい広場	小金原地区社会福祉協議会
12月5日(火)	明治安田生命販売会	明治安田生命
12月9日(土)	本庁地区音楽祭	本庁地区社会福祉協議会
12月9日(土)	ふれあいフェスタ	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
12月12日(火)	福祉販売会	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
12月12日(火)・13日(水)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
12月19日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
1月16日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
2月17日(土)	いいねまつど販売会	松戸市観光協会
2月21日(火)	市役所通路販売	松戸市福祉施設共同販売推進協議会
3月2日(土)	みんなの春まつり in テカノ 21	松戸市シルバー人材センター
3月16日(土)	流鉄トレインマーケット	松戸市観光協会
3月17日(日)	ときわ平くらしフェスタ	常盤平団地地域づくり会議
3月23日(土)	みらいフェスタ	まつど市民活動サポートセンター
3月24日(日)	国分川桜まつり	国分川桜まつり実行委員会

4 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的とし取り組みました。

(1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2) 内容

①総合訓練（消火・通報・避難誘導を連携して行う） 年1回 未実施

②部分訓練（消火・通報・避難訓練を個別に行う） 年5回

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(地震想定)	6月28日(水)14:55~15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者14・支援者2
第2回(地震・火災想定)	9月29日(金)14:45~15:00	緑ヶ丘2丁目公園	利用者16・支援者3
第3回(火災想定)	11月29日(水)14:55~12:00	緑ヶ丘2丁目公園	利用者14・支援者2
第4回(地震想定)	12月20日(水)15:00~15:15	緑ヶ丘2丁目公園	利用者16・支援者2
第5回(火災想定)	3月8日(金)15:00~15:10	緑ヶ丘2丁目公園	利用者16・支援者2

5 実習・見学者

月日(曜日)	内容	詳細
4月3日(月)	施設見学	つくし特別支援学校 高3年生 母子
4月10日(月)	施設見学	相談支援事業所いろどり1名
6月5日(月)~	実習	みらいず利用者1名 6/16まで
6月19日(月)~	実習	みらいず利用者1名 6/30まで
7月11日(月)~	実習	つくし特別支援学校 高3年生 7/14まで
7月26日(水)	施設見学	つくし特別支援学校 高1年生 母子
7月31日(月)	施設見学	矢切特別支援学校 高2年生 母子
8月2日(水)	実習	八千代特別支援学校教諭 1日体験
8月16日(水)	施設見学	矢切特別支援学校 高2年生 母子
8月28日(月)	施設見学	個人
9月20日(水)	施設見学	デューキャリア新松戸ワイルド1名
10月2日(月)~	実習	つくし特別支援学校 高3年生 10/13まで
1月12日(金)	施設見学	矢切特別支援高1年生 母子
1月22日(月)	施設見学	LITALICO 松戸2名
1月30日(火)	施設見学	白井市民生委員 20名

6 サービス管理責任者の責務

(1) 利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、利用者・家族に同意を得ました。

(2) 特別支援学校等からの利用申込者と面接し、生活や課題等のアセスメントを行いました。

(3) 個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。

(4) 支援に係る他の職員への技術支援と助言を行いました。

みらいず（多機能型事業所）

1 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

就労継続支援B型 みらいず・ぱれっと（従たる事業所）

みらいず	男性	5名	女性	4名	計	9名（定員12名）
ぱれっと	男性	7名	女性	5名	計	12名（定員12名）
計		12名		9名	合計	21名（定員24名）

（1）年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	0	5	2	1	3	1	12	39.5
女性	0	2	3	3	1	0	9	36.0
計	0	7	5	4	4	1	21	38.0

（2）月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	399	398	397	390	407	433	469	405	401	419	401	451	4837
開所日	22	22	22	23	22	22	23	21	22	21	21	23	264
1日当り	18.1	18.1	18.0	17.0	18.5	19.7	20.4	19.3	18.2	20.0	19.1	19.6	18.8
利用率%	94.5	95.2	94.9	89.2	92.5	93.7	97.1	91.8	86.8	95.0	90.9	93.4	93.0

（3）工賃実績

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
利用者数	20人	19人	21人
平均工賃(一人当たり)	13,125円	20,980円	22,192円

生活介護 みらいず

男性	5名
女性	3名
合計	8名（定員8名）

（1）年齢別の状況

	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
男性	0	4		1			5	27.6
女性		1	1		1		3	36.3
計	0	5	1	1	1		8	30.9

(2) 月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	135	142	153	140	139	149	149	135	125	132	145	144	1688
開所日	20	20	22	20	20	20	21	19	20	19	19	20	240
1日当たり	6.8	7.1	7.0	7.0	7.0	7.5	7.1	7.1	6.3	6.9	7.6	7.2	7.0
利用率%	84.4	88.7	86.9	87.5	86.8	93.1	88.7	88.8	78.1	86.8	95.4	90.0	87.9

(3) 工賃実績

	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
利用者数	6名	8名	8名
平均工賃(一人当たり)	7,454円	5,958円	5,425円

2 事業報告

今年度は新型コロナが5類に移行し、今まで中止となっていた行事や余暇活動なども少しずつ再開することができました。全般的には事業指針に沿って、利用者の個性を尊重し、個別の必要に応えられるよう取り組みに当たりました。特に、個々の生活のしづらさや困り感に寄り添い、落ち着ける場所を意識し支援に当たりました。日常生活においては、生活のリズムを意識し、働くこと、楽しむこと、暮らすこと等への支援を行ってきました。特にその中では、コミュニケーションを大切に、利用者本人の思いや願いを汲み取ることを常に心掛け、職員が統一した支援が行えるよう努めました。

就労継続支援B型(みらいず・ぱれっと)

(1) 施設外就労

- ・太田製作所(工場内作業)
- ・太田製作所(清掃作業)
- ・リユース工房くりくる(リユース品の清掃・販売)

施設外就労では、地域の会社との交流の中で利用者にとってはとても成長できる場所になっています。将来的に就労を考える際には、働くことだけではなく、コミュニケーションやマナーなども必要となるため、事業所の中だけでは体験できない大切な機会となっています。

(2) 受注作業

- | | |
|------------------|------------|
| ・(株)太田製作所 | 部品・取説等の袋入れ |
| ・(株)大成美術プリンティング | メモ帳袋入れ等 |
| ・マルヒロ(株) | 金具部品の仮組等 |
| ・(株)タカシマ | ネジ組込作業等 |
| ・(株)アークフォワード | チラシ折り込み作業 |
| ・はせがわ | アマゾン商品セット等 |
| ・(株)ユハラインターナショナル | ポストカード等 |
| ・その他の企業 | |

作業環境を整え、個々の支援を工夫することにより、一人ひとりが役割を自覚し自主的に取り組みが行えたように感じます。活動の中では特に、本人のできない事に着目するのではなく、できる事、得意なことを増やしたり伸ばしたりしながら、本人の自信につながる働きかけを意識し取り組みを行いました。

(3) 余暇活動等

- ・調理実習・テイクアウト
- ・誕生日会
- ・クリスマス会

生活介護

(1) 受注作業

- ・マルヒロ(柵) 金具部品の仮組等
- ・(柵)タカシマ ネジ組込作業等
- ・(柵)アークフォワード チラシ折り込み作業

(2) 余暇的支援等

- ・調理実習・テイクアウト
- ・誕生日会
- ・クリスマス会
- ・ドライブや散歩

外食や買い物支援は中止となりましたが、調理実習やテイクアウトなど、利用者と共にメニューを考え月一度楽しみました。また、誕生日にはデザートを購入しお祝いをしました。

(3) 健康観察

週一回看護師が来所し、利用者のバイタルチェックや相談を行いました。

3 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的として以下のような取り組みを行いました。

(1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2) 内容

- ①総合訓練（消火・通報・避難誘導を連携して行う） 年1回 未実施
- ②部分訓練（消火・通報・避難訓練を個別に行う） 年5回

みらいず（多機能型）

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(地震想定)	4月7日(月)11:30~11:40	稔台第2公園	利用者13・支援者5
第2回(火災想定)	6月27日(火)11:40~11:55	稔台第2公園	利用者16・支援者4
第3回(地震想定)	9月28日(木)13:10~13:20	稔台第2公園	利用者16・支援者5
第4回(火災想定)	10月30日(月)11:45~11:50	稔台第2公園	利用者14・支援者4
第5回(地震想定)	12月25日(月)13:30~13:40	稔台第2公園	利用者11・支援者5
第6回(火災想定)	2月29日(木)11:40~11:50	稔台第2公園	利用者13・支援者4

ぱれっと

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(洪水想定)	5月9日(火)13:30~15:00	馬橋小学校	利用者9・支援者2
第2回(火災想定)	6月30日(金)11:45~11:53	広手公園	利用者10・支援者2
第3回(地震想定)	9月28日(木)14:30~14:40	広手公園	利用者11・支援者3

4 実習・見学者

月日(曜日)	内容	詳細
5月30日(火)	施設見学	つくし特別支援学校 高2年生 母子
6月5日(月)~	実習	つくし特別支援学校 高3年生 6/16まで
6月5日(月)	施設見学	在宅者 母子
6月15日(木)	施設見学	一般就労退職者 母子
6月19日(月)~	実習	一般就労退職者 6/29まで
8月7日(月)	施設見学	つくし特別支援学校 高1年生 母子
8月10日(木)	施設見学	在宅者 父子
9月4日(月)~	実習	在宅者 9/15まで
10月2日(月)~	実習	つくし特別支援学校 高3年生 10/13まで
3月11日(月)	施設見学	他事業所退所者 父子
3月18日(月)~	実習	他事業所退所者 3/29まで

5 生活支援について

利用者本人の困りごとの相談や仕事の指導・支援、日常生活を安全・安心して過ごせるように、職員全体会議や、事業所内で月1回のケース会議等を行い職員共有として取り組みました。

6 サービス管理責任者の責務

- (1) 利用者・家族と面談等をして、個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、利用者・家族に同意を得ました。
- (2) 特別支援学校等からの利用申込者と面接し、生活や課題等のアセスメントを行いました。
- (3) 個別支援計画の実施状況のモニタリングや計画の変更を行い、記録いたしました。
- (4) 支援に係る他の職員への技術支援と助言を行いました。

共同生活援助花音（グループホームルピナス1・2）

1 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
ルピナス1				1	1		2
ルピナス2			1	2	1		4
合計			1	3	2		6

年齢別の状況

	20～29	30～39	40～49	50～59	計
男性	1		1		2
女性	1	1	1	1	4
計	2	1	2	1	6

2 事業報告

利用者がその人なりの自己実現に向けた日常生活及び社会生活を実現できるよう、利用者に対してその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の支援・介護、その他の日常生活の支援を行うことにより、入居者の充実を図る。という方針のもとで事業運営をおこなってまいりました。

現在6名の利用者は入居4年になり、共同生活に慣れて落ち着いて生活されてされております。同時に各々の個性を十分に発揮されるようになってきました。

健康状況の把握は毎日ホームで体温計測、また血圧測定（対象者）を行いました。異常等があれば日中事業所やご家族への連絡をして、また関係医療機関への通院に付き添いをいたしました。

支援体制は昨年と同様の職員で入居者の支援にあたりました。短期入所者の受入れもありましたので大変ではありましたが、職員募集は難しく課題となっております。

日々いろいろなことがある日常ですが、利用者・職員が安心して暮らせるグループホームルピナスであるようこれからも努めてまいります。

3 生活支援について

利用者本人の困りごとの相談や仕事の指導・支援、日常生活を安全・安心して過ごせるように、職員・世話人（夜勤者を含む）それぞれの関りごとを分担して取り組み、職員会議や各事業所のミーティングに諮り共有して参りました。

- (1) 就寝・起床・食事・入浴などの生活リズムを整えるように声掛け支援しました。
- (2) 公共交通機関を使って通所する利用者には、適宜な時間等共に確認し見守り支援しました。
- (3) できる限り、自己決定に基づいた生活が送れるよう支援しました。
- (4) 主体的に生活できるよう見守り支援しました。
- (5) クリスマス会など季節の行事や誕生会などのお楽しみ会を行いました。

- (6) 困りごとの相談や、できない事を把握し教えるなど支援をしました。
- (7) 夜間の見守り支援を行いました。
- (8) 利用者のプライバシーには十分配慮し、一人ひとりに合わせた支援に努めました。

4 防災計画

施設内において、自力避難の困難な利用者の緊急避難に重点をおいた、より実践的、効果的な訓練を実施することを目的としており以下のような取り組みを行いました。

(1) 実施方法は、別に消防計画書として、これを定めております。

(2) 内容

- ①総合訓練（消火・通報・避難誘導を連携して行う） 年1回 未実施
- ②部分訓練（消火・通報・避難訓練を個別に行う） 年5回

ルピナス1・2

避難訓練	日時	避難場所	参加者
第1回(地震想定)	4月17日(月)17:00～17:15	下菰公園	利用者6・支援者1
第2回(火災想定)	7月3日(月)17:00～17:10	下菰公園	利用者7・支援者1
第3回(地震想定)	10月18日(火)17:00～17:20	下菰公園	利用者6・支援者1
第4回(火災想定)	12月4日(月)16:00～16:15	下菰公園	利用者6・支援者1
第5回(地震想定)	2月29日(木)16:30～16:40	下菰公園	利用者7・支援者1
第6回(火災想定)	3月27日(水)16:30～16:45	下菰公園	利用者8・支援者1

※短期入所利用者も参加しています。

共同生活援助花音 短期入所

1 利用者の状況（年間）

月別利用実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人数	2	4	5	2	1	2	3	6	3	2	5	5	40
延利用日数	4	18	20	12	9	12	14	20	9	10	20	22	170

2 事業報告

令和5年度は、短期入所者11名と体験入所者1名の受け入れをしました。短期入所は毎月定期的にご利用されている方が多くなりました。短期入所を重ねて行くことでグループホームの生活に自信が持てるようになってきていると感じております。グループホームでの生活を体験することにより、将来の自立に向けて見通しを持てるように期待するところです。

3 生活支援について

花音（共同生活援助）の生活支援報告内容と同様にいたしました。